

令和3年度

「発達障害支援の地域連携に係る全国合同会議」

国立特別支援教育総合研究所  
発達障害教育推進センター



独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

# 発達障害教育推進センター

発達障害に関する最新情報や国の動向について、Webサイトや展示室の公開等を通じて、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員や保護者をはじめとして幅広く国民に提供し、理解啓発を一層推進するとともに、発達障害教育に関する研究成果の普及や教育実践セミナーの開催、教育委員会等と連携した人材育成の取組を通じて、発達障害に関する実践的な指導力の向上を図っています。

## Webサイトによる情報提供



世界自閉症啓発デー ONLINE 2021 - 輝く人・照らす人-の動画配信がスタートしました。

毎年4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。今年度もコロナ感染拡大防止に配慮し、ONLINEで開催します。

コンテンツ①  
「友情で輝く・友情で照らす」シェアとエルモのストーリータイム」

「二次的な障害」のリフレットを作成しました

発達・価値観では、令和元年度から2年度の基幹研究として、「社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研究-発達障害等の特性及び発達段階を踏まえた適切な指導等の在り方に焦点を当てて-」に取り組みました。この度、研究内容をまとめたリフレットが完成しましたのでご紹介します。

【終了報告】令和2年度「発達障害教育実践セミナー」

令和3年1月28日(木) 9:30~12:00 に令和2年度「発達障害教育実践セミナー」をZoomウェビナー(YouTube同時配信)によるオンライン形式で開催しました。皆様のお力添えがあって無事にセミナーを終了することができました。

セミナーには98名様からの申込みがあり、当日は最大119名のアクセスがありました。多くの方々に

## 発達障害に関する展示室

発達障害に関する基本的な理解、対応や支援に関するパネル展示、教材・教具や支援ツール、参考図書等を紹介する。発達障害の特性を体験的に学ぶコーナーも設置している。



## 発達障害教育実践セミナー

教育委員会及び教育センター等における研修の支援等を内容とするセミナーを開催し、各自治体との連携を促進するとともに、教育現場における実践的な指導力の向上を図る。

# 家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクト 報告～障害のある子と家族をもっと元気に～ 2018.3

## 1. 教育と福祉との連携を推進するための方策

- (1) 教育委員会と福祉部局、学校と障害児通所支援事業所等との関係構築の「場」の設置
- (2) 学校の教職員等への障害のある子供に係る福祉制度の周知
- (3) 学校と障害児通所支援事業所等との連携の強化
- (4) 個別の支援計画の活用促進

## 2. 保護者支援を推進するための方策

- (1) 保護者支援のため相談窓口の整理
- (2) 保護者支援のための情報提供の推進
- (3) 保護者同士の交流の場等の促進
- (4) 専門家による保護者への相談支援

## 3. 国立特別支援教育総合研究所と

### 国立障害者リハビリテーションセンターの連携促進

## 4. 障害の理解促進のための普及啓発

# 発達障害に係る教育と福祉の支援人材の専門性の検討

## 背景

障害のある子供たちへの支援にあたっては、行政分野を超えた連携が不可欠であり、「**家庭と教育と福祉の連携『トライアングル』プロジェクト**」報告において、以下の課題が挙げられた。

- 教育や福祉の分野において発達障害者支援にあたる人材が身に着けるべき専門性を整理し、各自治体の指導的立場となる者に対する研修の在り方等、教育や福祉の現場にその成果を普及させる方策を検討すること
- 国立特別支援教育総合研究所と国立障害者リハビリテーションセンター双方のHPについて、教育分野における支援、福祉分野における支援に係る情報を保護者等が活用しやすいように工夫すること

## 概要

### 発達障害に係る教育と福祉の支援者の専門性の在り方に関する検討会議の設置



検討会議（有識者、教員、医療、保健、労働、福祉関係者、保護者代表）  
事務局（特総研、国リハ、文部科学省、厚生労働省）

#### 検討事項

- ・教育と福祉の連携・協働の課題の把握
- ・発達障害支援の専門性の整理
- ・連携・協働の専門性に関する研修の在り方の検討

文科省



特総研

厚労省



国リハ

連携

## 成果

- ◎ **連携・協働に関する研修カリキュラムの作成**  
(研修実施ガイド、e-ラーニングコンテンツの作成)
- ◎ **発達障害に関する国のポータルサイトの新設**

# 発達障害支援に係る教員の資質向上に向けた人材育成プロジェクト

## 背景・説明

発達障害を含む障害のある児童生徒に対する支援は、全ての学校・学級に求められており、特別支援教育に係る教員の専門性の向上が課題となっている。  
また、障害のある児童生徒への支援にあっては、行政分野を超えた連携が不可欠である。(※H30.3「家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクト」報告)

## 目的・目標

- 教育と福祉の支援者が「連携・協働」するための課題の整理と検討を行い、地方自治体における連携体制の構築を促進する。
- 『教育と福祉の支援者が「連携・協働」するための研修カリキュラム』を活用し、連携・協働のできる人材の育成を図る。

## 取組内容

### 国立特別支援教育総合研究所

- 教育と福祉の支援者が「連携・協働」するための課題の整理と検討
- 自治体関係者による研究協議会
- 発達障害教育実践セミナーの開催
- webサイトによるコンテンツの作成

### 地方自治体(9地域)

- 検討会議等の開催(教育と福祉の連携体制構築)
- 研修カリキュラムを活用した教育と福祉の合同研修の在り方の検討と実践

The diagram shows three entities: '教育委員会' (Education Commission) in a blue box, '福祉部局' (Welfare Department) in an orange box, and '家庭' (Family) in a pink box. A double-headed green arrow labeled '連携・協働' (Collaboration) connects the Education Commission and the Welfare Department. A green arrow labeled '支援/連携' (Support/Collaboration) points from the Education Commission to the Family. Another green arrow labeled '支援/連携' (Support/Collaboration) points from the Welfare Department to the Family.

協力・支援

教育と福祉の支援者が「連携・協働」するための課題の整理と合同研修の在り方の検討

## 期待される効果

教育と福祉が連携・協働した体系的な研修が実施されることにより、教員及び福祉支援の職員の専門性が向上し、児童生徒に対する支援の充実につながる。

# 「人材育成プロジェクト」の取組(2021年度)

宮崎県	子どもの発達からみた学校・福祉・保護者の連携 ～発達障害のある子供のライフステージに応じた支援～
滋賀県	特別支援教育支援体制の構築に向けた関係機関との連携 ～特別支援教育コーディネーターと福祉担当者との合同研修～
福井県 福井市	教育と福祉の支援者が「連携・協働」するための課題の整理と検討 ～教育と福祉との連携・協働検討会議及び合同研修～
宮崎市	教育と福祉が「連携・協働」するための課題の整理と検討 ～中学校区を活用した取組～
秋田県	学校と放課後等デイサービス事業所の連携促進に向けた研修会の取組 ～切れ目ない支援に向けた連携体制の構築に向けて～
徳島県	家族を支える具体的な仕組み ～障がい児・者と家族・保護者等に対する支援の実際～
山口県	地域の核となる人材の育成 ～特別支援学校を活用した発達障害支援スタッフセミナー～
川崎市	教育と福祉の支援者が「連携・協働」するための課題の整理と検討 ～子ども発達・相談センターの開設に向けた教育と福祉の連携～

# 発達障害教育実践セミナー

厚生労働省、文部科学省、国立障害者リハビリテーションセンターとともに令和元年度より取り組んできた、家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクトに関する事業のまとめとして開催

発達障害者支援にあたり教育と福祉の支援者が「連携・協働」するための合同研修の在り方をテーマに、9つの協力自治体の取組紹介、参加自治体による情報交換等を通して、教育と福祉の連携体制の構築にかかる課題を整理し、今後の在り方について展望することを目的

## テーマ 「発達障害者支援を充実するための教育と福祉の合同研修の在り方の検討」

内容： 実践報告、情報交換、事業の総括

対象： 教育委員会・センター等の研修担当、

福祉行政担当者、発達障害者支援センター職員等

期日： 2022年1月27日(木)オンライン開催

参加： 110機関(160機関からアクセス)



## まとめ1. 教育と福祉の担っている役割の違い

- ・教育は組織で、福祉は個人で動く
- ・制度の違い、用語の使い方の違い
- ・違いは多角的な視点がもてるメリットでも
- ・福祉制度、教育制度の双方の理解の促進
- ・切れ目ない支援のための連携の必要性
- ・支援ファイル、支援計画のつながり

## まとめ2. 地域のキーパーソンの人材育成

- ・教育のことも福祉のこともわかる人材の育成
- ・誰が何を担うのかキーパーソンの位置づけ
- ・連携協議会等の支える行政の仕組み
- ・ライフステージに応じた縦と横の連携・協働
- ・顔が見える関係、継続的なケース会議
- ・つなぐ人、翻訳する人の育成、人事交流の工夫

### まとめ3. 「連携・協働」の研修カリキュラム

- ・基本的な研修内容が整理
- ・経験に応じた到達指標の活用
- ・研修のニーズ把握と研修内容の精選
- ・教育主体の研修、福祉主体の研修
- ・研修終了後の評価（子どもの支援に生かす視点）

### まとめ4. 「連携・協働」するための研修の実施

- ・With、Afterコロナを見据えたハイブリッド型研修
- ・事例を通じた演習の必修
- ・本人や保護者（当事者）から学ぶ研修（ライフステージ）
- ・関係者が参加しやすい時間と場の効率化
- ・研修から定期的なケース会議へ（体制づくり）

## 事業の総括と今後の展望 14:50—15:25

### コーディネーター

笹森 洋樹（国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター センター長）

### 〔事業の総括〕

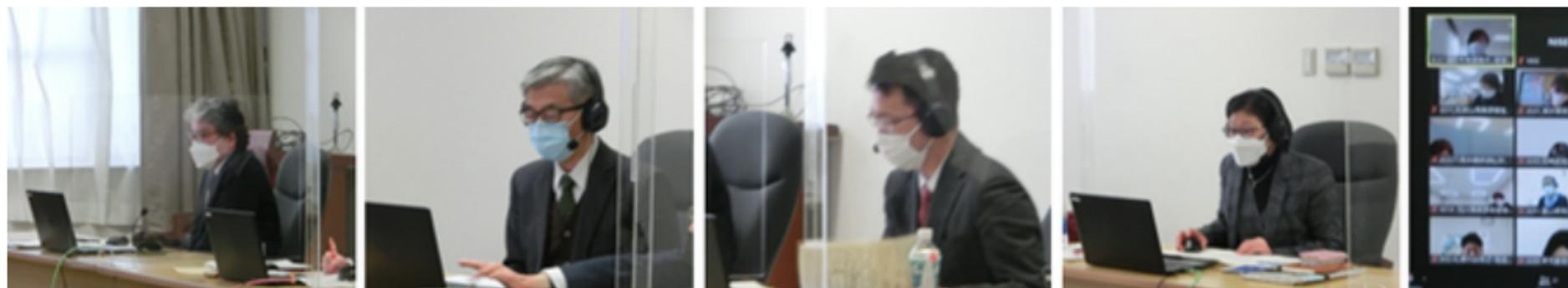
笹森 洋樹 （国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター センター長）

西牧 謙吾 氏（国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害支援・情報センター センター長）

### 〔今後の展望〕

田中 尚樹 氏（厚生労働省 障害福祉課 発達障害施策調整官）

加藤 典子 氏（文部科学省 特別支援教育課 特別支援教育調査官）



※写真 Zoomミーティングによるオンラインセミナーの様子

# 国立特別支援教育総合研究所 イベント紹介

## 研究所公開

日程 令和3年12月3日(金)~4年1月31日(月)  
会場 国立特別支援教育総合研究所  
(神奈川県横須賀市)

オンライン公開

## 国立特別支援教育 総合研究所セミナー

日程 令和4年2月5日(土)  
会場 国立特別支援教育総合研究所  
(神奈川県横須賀市)

オンラインとオンデマンド配信

## 特別支援教育推進 セミナー

### 会場

- ① 広島県(広島大学) 令和3年11月26日(金)
- ② 宮崎県教育研修センター 令和3年12月21日(火)
- ③ 山形県総合教育センター 令和3年12月27日(月)

集合型対面とオンライン配信



インターネットによる講義配信

# NISE 学びラボ

～ 特別支援教育eラーニング ～

- ・PCやタブレット端末、スマートフォン等がご使用いただけます。
- ・おおよそ15分から30分程度の講義です。
- ・登録していただければどなたでもご利用が可能です。
- ・職場や自宅など様々な場所でいつでもご活用ください。

[https://www.nise.go.jp/nc/training\\_seminar/online](https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online)



# 発達障害ナビポータル 9/30 公開!

<https://hattatsu.go.jp/>

国が提供する発達障害に特化したポータルサイトです。  
発達障害に関する信頼のおける情報を提供します。

<共同運営> 国立障害者リハビリテーションセンター  
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

